

町内別避難場所一覧表 ～地震編～

※各町内に割り当てられた避難場所は、強制ではありませんので、市内のどの避難場所に避難しても構いません。家庭や近所などで話し合っ、どこに避難するかを決めておきましょう。

※この表における避難場所は、震災時を想定したものです。洪水時の避難場所については、平成16年7月1日に配布した「洪水避難地図(ハザードマップ)」をご覧ください。

対象区域	避難場所
本町1・2丁目	第一小学校、第一幼稚園、第二小学校、第二幼稚園
本町3・4丁目	第一小学校、第二小学校、第二幼稚園、老人福祉センター
新町1～3丁目、日宝町、金沢町1～4丁目、柄目木、飯柳	第二小学校、第二幼稚園、図書館、第一小学校
滝谷本町、滝谷町、草水町1～3丁目、秋葉1～3丁目	老人福祉センター、新津高校
山谷町1～3丁目、南町、美幸町1～3丁目、新栄町、緑町、古田、天神	第三小学校、第三幼稚園、第一中学校、市民会館、市民武道館、保健福祉センター
善道町1・2丁目、下興野町、北上1～3丁目	第一小学校、第三小学校、第三幼稚園、川口地域交流会館
北上新田、さつき野1～3丁目	第三小学校、第三幼稚園、川口地域交流会館
中沢町	第一小学校、老人福祉センター
吉岡町、田家1～3丁目	第一小学校、第一中学校

対象区域	避難場所
北潟	第三小学校、川口地域交流会館
川口	結小学校、川口地域交流会館
結、福島、田島、荻島1～3丁目、中野1～3丁目	結小学校、第二中学校、荻川保育所
こがね町、荻野町、中野4・5丁目、車場1～5丁目	第二中学校、荻川保育所、荻川地区公民館、荻川地区体育館、荻川地区ふれあいセンター
市之瀬、覚路津、三枝潟、三津屋、長割	市之瀬小学校
小口	クリーンセンター
大関、岡田、下新、市新、金屋、新郷屋、六郷	新関中学校、金屋運動広場
東町1～3丁目、新金沢町、東金沢	第五中学校、阿賀小学校
上金沢、大安寺、中新田	新関中学校、金屋運動広場
満願寺、七日町、大蔵	満日小学校、海洋センター、グリーンセンター
古津、西古津、蒲ヶ沢、塩谷、割町、朝日、東島、西島	金津小学校、金津保育所、金津中学校
金津	新津観光物産館
中村、程島	保健福祉センター、金津小学校
小合地区	小合東小学校、小合東幼稚園、小合地区コミュニティセンター
大鹿、栗宮、小戸上組、小戸下組	小合東小学校、小合東幼稚園、小合地区コミュニティセンター
小屋場、梅ノ木、浦興野、出戸、子成場、四ツ興野、蕨曾根、大秋、川根、野方	小合小学校、小合地区コミュニティセンター

■防災についての問い合わせは… 総務課 庶務統計係 ☎24-2111、内線311・312

新津市では、災害で被害を受けた県内の被災地へ、さまざまな職種の職員を派遣したり、市民の皆さんから寄せられた義援金や支援物資を送ったりするなどの支援を行ってまいりました。これからも、できる限りの支援を行っていきたく考えています。

身近な自然 豊かなカルチャー

花と遺跡のふるさと公園

新津市美術館

☎0250-25-1301
http://www.city.niitsu.niigata.jp/

新潟県埋蔵文化財センター

☎0250-23-1142
http://www1.ocn.ne.jp/~n-maibun/

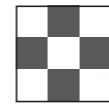
新潟県立植物園

☎0250-24-6465
http://botanical.greenerly-niigata.or.jp/

地震に備える



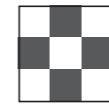
今年は阪神淡路大震災から10年という節目の年に当たります。昨年は、7・13新潟福島豪雨災害や10・23新潟県中越大地震など県内にも大災害が起こりました。幸いにも市内では人・建物への大きな被害はありませんでしたが、この機会に非常時の避難場所(左をご覧ください)や避難方法、家族との連絡方法などを話し合ってみてはいかがでしょうか。



防災は地域ぐるみで ～災害時に力を発揮する自主防災組織～

大地震が起こった場合、被害を最小限に食い止めるために、市をはじめとする防災機関は全力を挙げて活動しますが、火災や道路の寸断、建物の倒壊など多種多様な被害が出ると、関係機関のみの活動では十分に対処できないのが現実です。

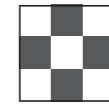
そこで重要な役割を果たすのが、各家庭での日ごろの備えや、いざというときの心構え、そして地域ぐるみの活動です。地域に住む住民がお互いに協力し合い、地域全体の安全を守るために自らで防災活動を行う組織を「自主防災組織」といいます。自主防災組織は迅速に初期活動を行うことができるため、阪神淡路大震災の時も、被害が同じ程度でも自主防災組織を結成している地域は死者の出る比率が低かったといわれています。ぜひ、皆さんの地域でも防災について



非常持出し袋の準備を

避難するとき持ち出すものは、あまり欲張りすぎないことが大切です。必要最小限の必需品にしましょう。重さの目安は男性で15kg、女性で10kg程度です。背負いやすいリュックサックにまとめておくと便利です。

- 非常持ち出し袋に入れると良いもの
- ・携帯ラジオ、懐中電灯... 予備電池も用意しておきましょう。
- ・医薬品... 常備薬、ばんそうこう、包帯、消毒液など
- ・非常食品... 飲料水、火を通さずに食べられるもの(乾パン、缶詰、お菓子など)
- ・現金... 10円硬貨があると公衆電話の利用に便利です。
- ・その他... 衣類、タオル、ティッシュ、ウェットティッシュ、軍手、雨具、缶切りなど



災害情報はラジオチャットで

災害時に一番大切なのは、正確な情報を素早く収集することです。普段はテレビで情報を収集することが多いと思いますが、停電時にはテレビを見ることができなくなりますので、乾電池で使えるラジオが有効な道具となります。新津市にはコミュニティFM局「ラジオチャット」(エフエム新津/76.1MHz)があり、災害時には市内の被災状況や交通情報など、身近な情報を発信しています。

また、避難勧告などは市の広報車などを利用して行いますが、一斉に全市民に伝えることは困難です。そんなとき、ラジオのスイッチを入れ、ラジオチャットにダイヤルを合わせれば、市からの情報を素早くキャッチすることができます。災害時の情報収集は、ラジオチャットをご利用ください。



緑の風薫り 笑顔ゆきかう ふれあい文化都市

にいつ 新津

新津市第3次総合開発計画：平成7～16年度

- 水と緑のまち 快速で安らぎが漂うまち
- 人が輝き活力のみなぎるまち
- にぎわいと交流のまち
- 明るく元気なまち 健やかで優しさが響きあうまち
- 豊かな人間味と文化の薫るまち
- 個性豊かな文化のまち